

## 学級通信

保護者は、「どんな担任だろう?」「学級で子どもたちは、どんな様子だろう?」と気にしています。学級通信は、担任の教育に対する考え方や子どもたちの日々の様子を保護者に伝えることができます。また、保護者の返信などを載せると、担任一子どもー保護者をつなぎ、保護者との信頼関係をつくることのできる教育効果の高いツールです。

ここでは、聞き取り調査をもとに学級通信のポイントを4つ示しています。また、次ページから学級通信に関する様々な工夫や配慮事項など聞き取りしたスキルの具体例を見ることができるようになっています。

### ポイントとスキル

ポイント	スキル
■ 内容の工夫	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 担任の学級づくりの方針を伝える</li><li>○ 子どもたちの様子を伝える</li><li>○ 保護者の声を伝える</li></ul>
■ 紙面の工夫	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 興味をもてるようにする</li><li>○ 読みやすいようにする</li><li>○ 見やすいようにする</li></ul>
■ 活用の工夫	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 保護者と学校をつなぐ</li><li>○ 地域と学校をつなぐ</li></ul>
■ 配慮事項	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 事前のチェックを行う</li><li>○ 作品・写真については、子どもと保護者の了解を得る</li><li>○ その他</li></ul>

## 学級通信

### スキルの具体例

#### ■ 内容の工夫

##### ◆担任の学級づくりの方針を伝える

- ・年度当初学校の方針や担任の考え、思い、願いなどを出す。また、保護者の返信欄や連絡帳の内容を載せることを伝え、双方向の通信にする。 (小40女、中30男)
- ・通信は、ほとんど「生徒+保護者」向けにする。保護者向けの部分には、囲みをつくりわかるようにする。 (中30男)
- ・B4、1枚の左の欄には1週間の時間割と用意するものを載せ、学習の進捗などもわかるようにする。右の欄には、担任が伝えたい思いや要望を書く。 (小30女)
- ・学級で、できてないこと(チャイム席など)を伝えるとき「～ができていない」ではなく、「～をがんばってほしい」と教師の願いとして表現する。 (小50女)

##### ◆子どもたちの様子を伝える

- ・短歌を詠ませているが、その短歌を保護者に紹介する。また、保護者にも広め、保護者にも短歌の作成をお願いしている。 (高40男)
- ・児童の感想を載せたときは、児童と保護者がその感想について会話ができるようにしている。子どものよいところを書き、担任の気持ちとして課題を書く。 (小40女)
- ・子どもが何を感じているかや子どもが学んで思ったことを載せる。また、集団の変容をわかるようにしている。 (小30女、中40女)

##### ◆保護者の声を伝える

- ・保護者からの通信欄を設けている。それを載せることによって保護者同士の考えが伝わるようにし、双方向にしている。 (小30女、小40男、高30女)
- ・返信欄を設けるときは、「読みました」だけでもよいことにする。学校からの配付物を渡しているかを把握することにもなる。 (小40女)
- ・若い保護者も多いので保護者が家庭で何をすればよいのかをわかるような内容を心がけている。 (小50女、中40男)

## ■ 紙面の工夫

### ◆興味をもてるようにする

- ・行事予定をこまめに出し、学校のスケジュール等情報提供のツールとしても有効である。英単語コンクールの発表や絵画コンクールなどで入選したことなど、様々な子どもの活躍などにほめる言葉を一言つけ載せる。 (小30男、中40女、高40男 他)
- ・子どもの様子や学校でのエピソードを盛り込む。その場合、子どもの感想や日記を中心にして載せる。子どもの目標に向かってがんばっている様子や達成感が具体的に伝わるよう日記などを活用する。 (小30男、中50男)
- ・保護者の自己紹介コーナーを設けておく。学級集会などで子どもがいたから出会えたという保護者の仲間意識をつくる。 (小30男)
- ・教師、子ども、保護者の三者日記を活用し思いを書く。毎日提出させ、その内容も時々載せる。保護者には、啓発済みである。 (小50女、中40男)

### ◆読みやすいようにする

- ・行事等は、その様子を写真つきで載せる。子どものコメントを入れるとわかりやすくなる。カラープリントを使うこともある。 (小30男、中40女)
- ・月行事がある時は、毎月テーマ日記を活用し、子どもの文章で伝わるようにする。日記については、14行のノートで、題が1行、子どもが10行を書く。3行が教師の返信とする。 (小30女、小30男)
- ・「月・水・金」の三回ぐらい発行する。子どもの日記や写真を入れ、子どもの姿やクラスのできごとがわかようにする。 (小30女、小40男)

### ◆見やすいようにする

- ・5年生(子ども)も読める漢字、文章で書いている。ルビなども打つようにしている。「見出しの文字」や「文章の文字」の大きさも考える。手書きで出すと教師の思いがより伝わる場合もある。 (小40男)
- ・4コマ漫画にして、学校や子どもたちの様子を紹介している。子どもたちの自由帳などに書いている絵などをカットにすると子どもも喜ぶ。 (小30女、小50男)
- ・学級だよりの題は決めていない。載せる内容がわかるようにその都度、題を考えている。例えば、「がんばれ、発表会」など。 (小40女)

## ■ 活用の工夫

### ◆保護者と学校をつなぐ

- ・保護者の協力があった場合は、必ずお礼の意味を込めて発行する。その際、児童の言葉を載せ、家庭で学級通信を通して親子の会話が弾むようにする。 (小40男)
- ・発行回数は決めていないが、子どもの成長がわかるなど「これは伝えたい」というとき必ず出す。 (中40男)
- ・保護者が家庭で子どもに何をしてもよいのか、例えばどのような声をかければよいのかなど、保護者の立場に立って学級通信を作成している。 (小50女)
- ・学級通信を見た保護者は、連絡帳に返事がある。このようなことを通して保護者とのやり取りが始まり信頼関係が深まる。 (小40女)

### ◆地域と学校をつなぐ

- ・地域懇談会の際、通信のファイルを持参し、具体的な子どもの姿を伝える資料として活用している。 (小40男)
- ・子どもの感じたことなどを学級通信に載せ、家庭での親子の会話をきっかけになるように工夫し、保護者にも見てもらうようにする。テーマをこちらが得たい情報を出すこともある。例えば、兄弟げんか、家族、テレビなど。 (小50女、中30男)
- ・学校通信などは、公民館などにも配布していた。学校のスケジュール等情報提供のツールとなっていた。 (小50女・管理職)

## ■ 配慮事項

### ◆事前のチェックを行う

- ・配付する前に、管理職（発行責任者）や他の教師に読んでもらい、誤字・脱字や文章が伝わるか助言してもらう。 (小40女、中50男・管理職)
- ・学年だよりは、学年主任を中心に交代で発行する。その際、事前に全員で表現・内容等チェックしておく。 (小30男、小50女、中50女 他)
- ・学年だよりは、学年主任が書いている。教科だより、部活だよりなども出すことがある。共通理解を深めるために事前に読み合うことを大切にしている。 (高50男)

### ◆作品・写真については、子どもと保護者の了解を得る

- ・子どもの作品や学校での活躍を載せている。作品掲載のときは「名前・仮名」で出すことを子どもと保護者から事前に了解を得ておく。(小40男、小30男、中50男 他)
- ・学級通信を作成する上で苦労することは、あまりよいことでない「マイナス面」の内容を出すときである。仮名を使うが事前に当該の保護者にも話す。保護者と一緒に育てるといったスタンスで書いている。(小30男)

### ◆その他

- ・子どもの作品や学校での活躍を載せるが、全員が掲載されるようにしている。また、無理をしないで負担にならない程度で発行する。(小30男)
- ・子どもの作品が載るときは連絡帳で事前に保護者に伝え、子どもをほめてもらうように願う。
- ・「自分が保護者だったらどうか」という視点から読み直し、表現の仕方や内容を考えるようにしている。(小30女、中40男)
- ・学級通信は、学級の様子ができるように毎日発行している。教師自身の学級経営の記録にもなる。放課後の時間を使って書く。(小40男、小40女)